

「長野県電子入札システム」 クライアントセットアップ手順書 (脱 Java 版)

令和2年7月31日版

■本書の概要

本書では、「長野県共同利用電子入札システム」において、電子入札を行うに当たっての事前の電子入札 IC カードの準備やパソコンの設定について説明を記載しています。

また、「長野県共同利用電子入札システム」参加団体の電子入札実施状況は、参加団体によって異なります。引き続き、紙での入札を実施する参加団体もありますので、詳しくは各参加団体にご確認ください。

目次

1. 動作環境について	4
2. 電子入札システムで利用する電子入札用 IC カード等の取得について.....	5
3. 信頼済みサイトへの登録方法	6
4. 添付資料を許可するサイトへの登録方法	8
5. ポップアップを許可するサイトへの登録方法	10
6. ファイルのダウンロードを許可する方法	12
7. サードパーティ製のブラウザ拡張機能を無効化する方法.....	14
8. ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする方法	16
9. TLS1.2 を有効にする設定方法.....	18
補足 1 キャッシュのクリア方法について	20
補足 2 メニューバーを表示させる方法	24
補足 3 許可 URL の設定.....	26

1. 動作環境について

本システムは、画面のポップアップ表示や添付ファイルのアップロード・ダウンロードの機能を利用しています。

パソコンの設定について に従って設定を行って下さい。

本体	対応OSが動作するPC/AT互換機(DOS/V)
CPU	Core Duo 1.6GHz 同等以上推奨
メモリ	1.0GB以上推奨
HDD	1ドライブの空き容量が1.0GB以上
外部端子	ICカードリーダーライターが接続できること
モニタ	解像度1024×768(XGA)以上
OS ブラウザ	以下の別紙資料を参照すること 電子調達システムがサポートするOS・ブラウザの組合せ
電子入札専用ソフト	ICカードの発行を受けた認証局より提供
接続回線	・インターネットへの接続手段を持つこと ・次のプロトコルが通過可能であること(HTTP、HTTPS、LDAP、SMTP) ・電子メールが送受信できる環境にあること ・システムを快適に使用するため、高速で安定した回線をご利用ください。
その他	・ウイルス対策ソフト ・Windowsには1バイト文字だけで構成されたユーザでログインすること

2. 電子入札システムで利用する電子入札用 IC カード等の取得について

電子入札に参加するためには、電子入札用 IC カード及び電子入札対応 IC カードリーダーが必要で

「長野共同利用電子入札システム」の電子入札システムは、電子入札コアシステムを採用しているため、電子入札コアシステム対応の民間認証局にて購入した電子入札用 IC カードを利用できます。

電子入札用 IC カード等はここに記載されている認証事業者（五十音順）で購入できますので、以下の注意事項を確認の上、必要に応じて申込手続きを行ってください。

認証事業者名 (サービス名)	問い合わせ先
株式会社 N T T ネオメイト (e-ProbatioPS2)	0120-851-240 https://www.e-probatio.com/
三菱電機インフォメーションネットワーク株式会社 (DIACERT-PLUS サービス)	03-6771-5108 https://www.diacert.jp/plus/
株式会社帝国データバンク (TDB 電子認証サービス TypeA)	0570-011999 https://www.tdb.co.jp/typeA/
東北インフォメーション・システムズ株式会社 (TOiNX 電子入札対応認証サービス)	022-799-5566 https://www.toinx.net/ebs/info.html
日本電子認証株式会社 (AOSign サービス)	0120-714-240 https://www.ninsho.co.jp/aosign/

参考：(<http://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html>)

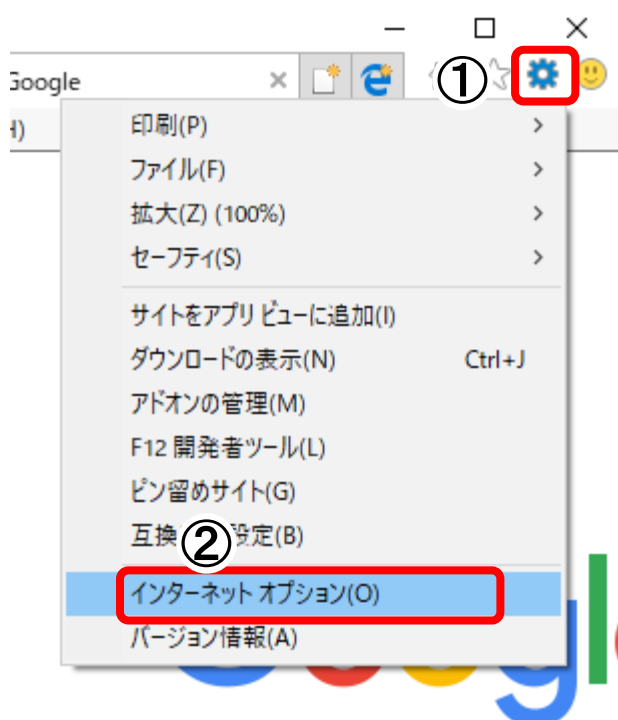
電子入札コアシステム開発コンソーシアムのホームページ（コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧）
（リンク先の認証局のうち、『電子認証登記所（商業登記に基づく電子認証制度）』は対象外です。）

※電子入札用 IC カードを取得の際の注意事項

- (1) 1 業者で、1 枚の IC カードで各参加団体の電子入札が行えるようになります。
- (2) IC カードは、原則、契約をする方の名義で購入していただく必要があります。年間代理人への委任を行う予定であれば、IC カードは受任者となる方のお名前でご用意していただく必要があります。
- (3) 1 業者で複数の IC カードを登録することも可能です。

3. 信頼済みサイトへの登録方法

1

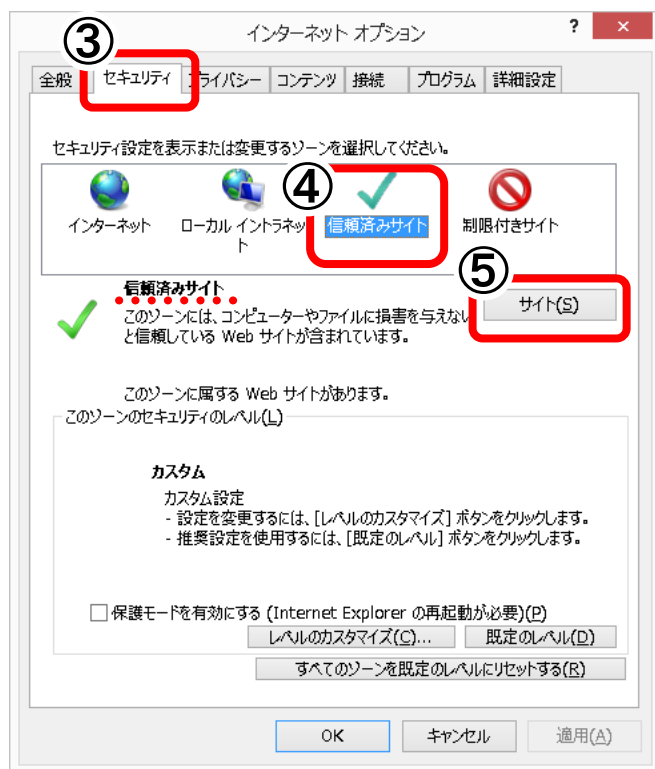


- ① Internet Explorer を起動します。
[ツール(O)]または[歯車]ボタンをクリックします。

(※ Windows8.1 は、デスクトップの Internet Explorer を起動します。「スタート」画面での Internet Explorer では、ご利用になれません。)

- ② 「インターネットオプション(O)」をクリックします。

2



- ③ 「インターネットオプション」画面が表示されます。
[セキュリティ]タブをクリックします。

- ④ ゾーンは、「信頼済みサイト」を選択します。

- ⑤ [サイト(S)]ボタンをクリックします。

3

- ⑥ 「信頼済みサイト」画面が表示されます。
「この Web サイトをゾーンに追加する(D)」に、
以下のアドレスを入力します。

`https://www.ebid.e-nagano.lg.jp/`

- ⑦ [追加(A)]ボタンをクリックします。

※追加は以下3つの URL を追加してください

`https://www.ebid.e-nagano.lg.jp`

`https://www.ppi.e-nagano.lg.jp`

`http://demo.ep-bid.supercals.jp`

4

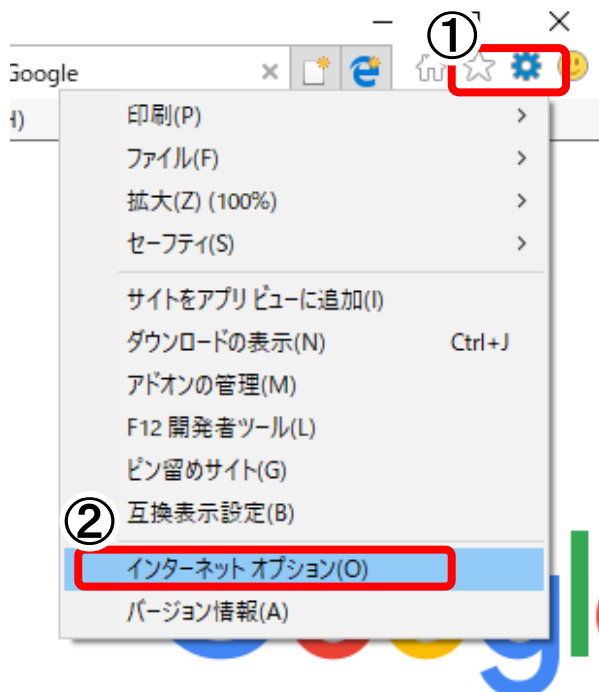
- ⑧ 「Web サイト(W)」に、追加したアドレスが
登録されているのを確認します。

- ⑨ [閉じる(C)]ボタンをクリックします。

- ⑩ 「インターネットオプション」画面が表示されま
す。
[OK]ボタンをクリックして閉じます。

4. 添付資料を許可するサイトへの登録方法

1

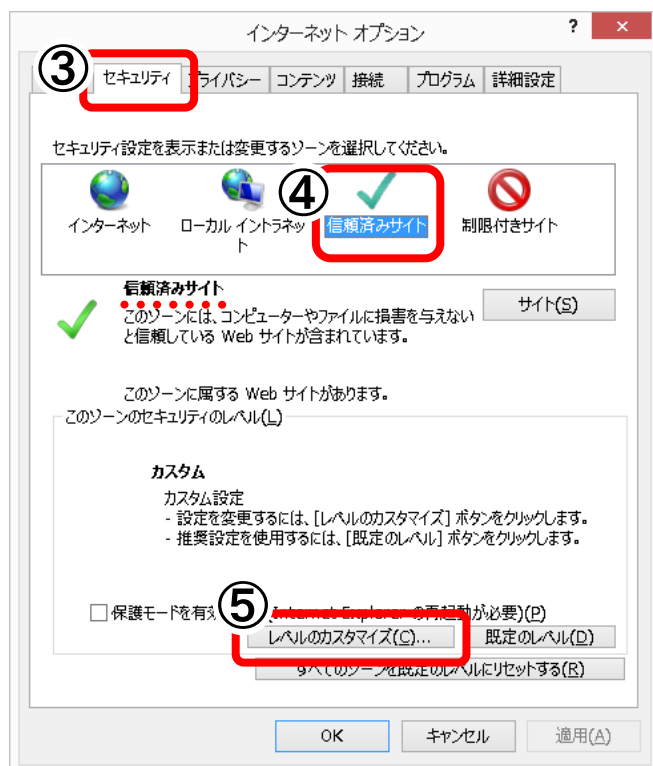


- ① Internet Explorer を起動します。
[ツール(O)]ボタンをクリックします。

(※ Windows8.1 は、デスクトップの Internet Explorer を起動します。「スタート」画面での Internet Explorer では、ご利用になれません。)

- ② 「インターネットオプション(O)」をクリックします。

2

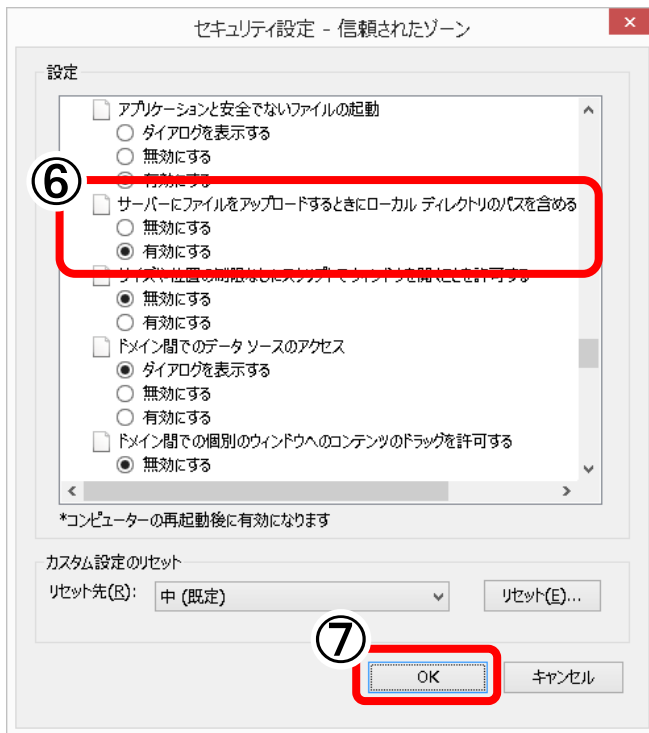


- ③ 「インターネットオプション」画面が表示されます。
[セキュリティ]タブをクリックします。

- ④ ゾーンは、「信頼済みサイト」を選択します。

- ⑤ [レベルのカスタマイズ(C)]ボタンをクリックします。

3

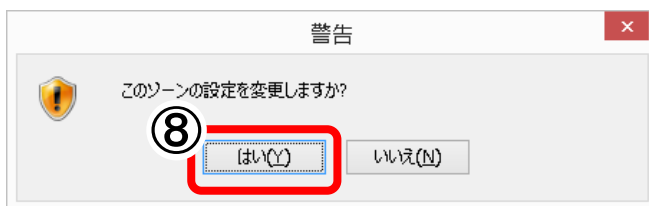


⑥ 「セキュリティ設定-信頼されたゾーン」画面が表示されます。

「設定」において、「その他」の「サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める」を「有効にする」に変更します。

⑦ [OK]ボタンをクリックします。

4

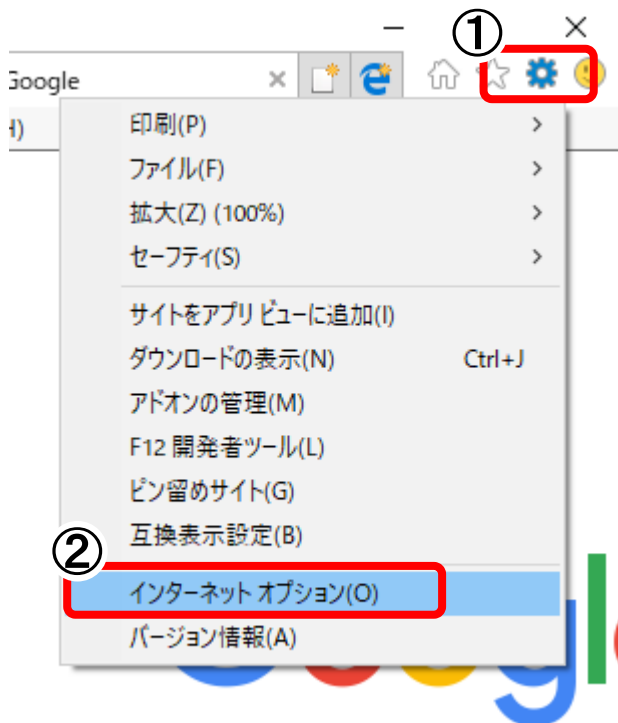


⑧ 「警告」画面が表示されます。「このゾーンの設定を変更しますか?」は、[はい(Y)]ボタンをクリックします。

⑨ 「インターネットオプション」画面が表示されます。[OK]ボタンをクリックして閉じます。

5. ポップアップを許可するサイトへの登録方法

1

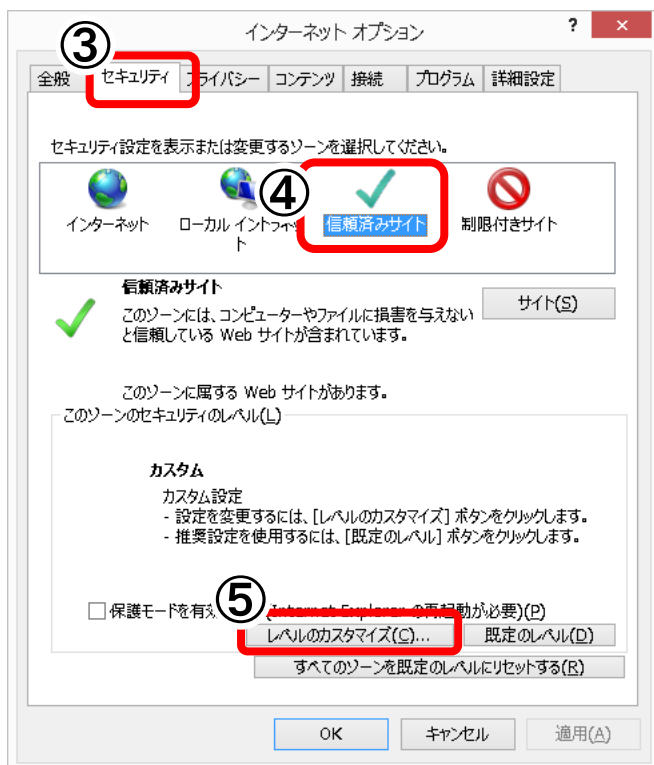


- ⑩ Internet Explorer を起動します。
[ツール(O)]ボタンをクリックします。

(※ Windows8.1 は、デスクトップの Internet Explorer を起動します。「スタート」画面での Internet Explorer では、ご利用になれません。)

- ⑪ 「インターネットオプション(O)」をクリックします。

2

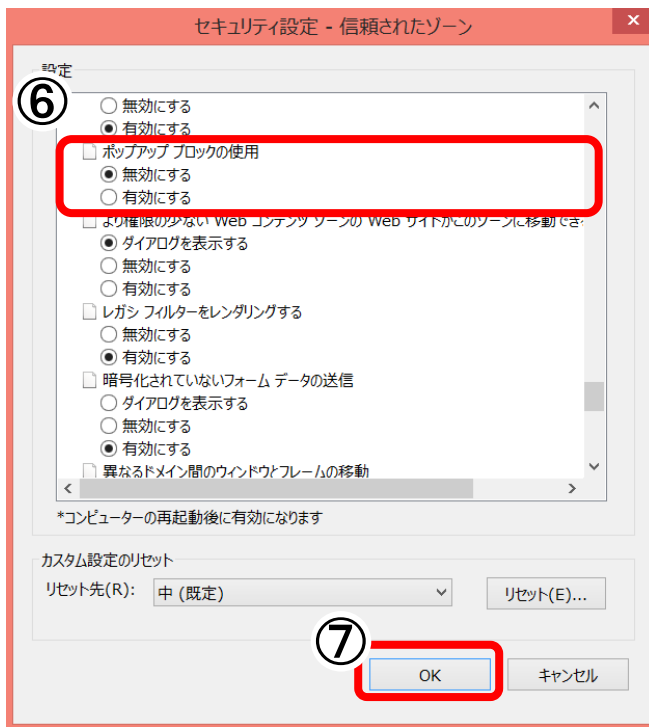


- ⑫ 「インターネットオプション」画面が表示されます。
[セキュリティ]タブをクリックします。

- ⑬ ゾーンは、「信頼済みサイト」を選択します。

- ⑭ [レベルのカスタマイズ(C)]ボタンをクリックします。

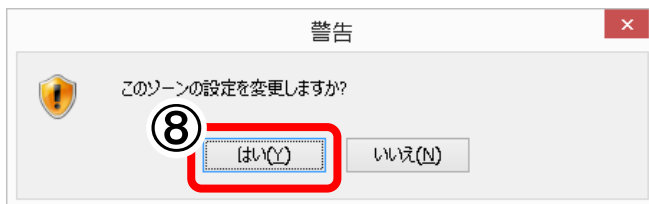
3



⑮ 「セキュリティ設定-信頼されたゾーン」画面が表示されます。
「設定」において、「その他」の「ポップアップ ブロックの使用」を「無効にする」に変更します。

⑯ [OK]ボタンをクリックします。

4

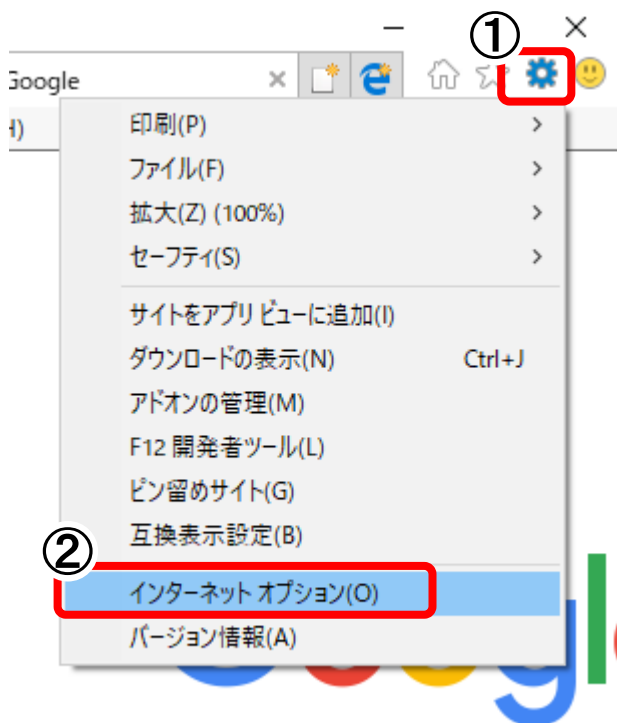


⑰ 「警告」画面が表示されます。
「このゾーンの設定を変更しますか?」は、
[はい(Y)]ボタンをクリックします。

⑱ 「インターネットオプション」画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックして閉じます。

6. ファイルのダウンロードを許可する方法

1

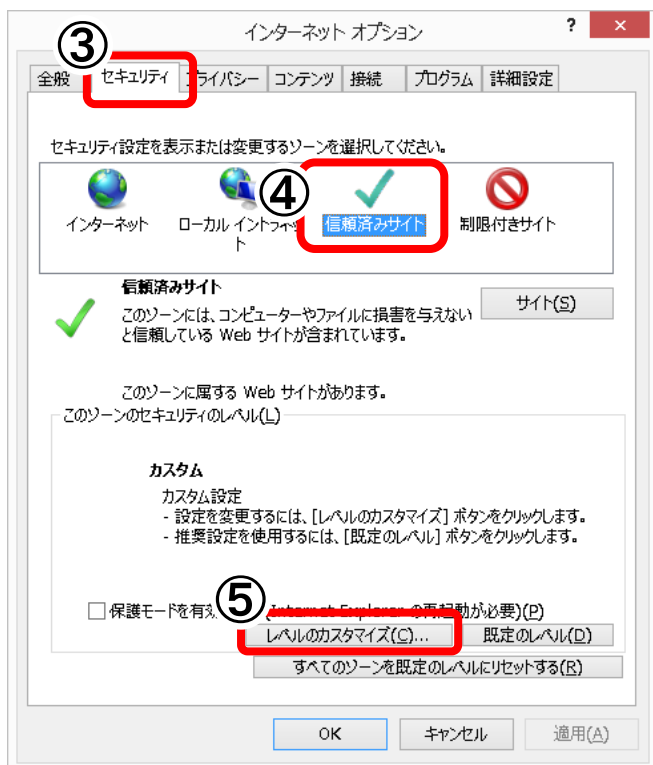


- ⑱ Internet Explorer を起動します。
[ツール(O)]ボタンをクリックします。

(※ Windows8.1 は、デスクトップの Internet Explorer を起動します。「スタート」画面での Internet Explorer では、ご利用になれません。)

- ⑳ 「インターネットオプション(O)」をクリックします。

2

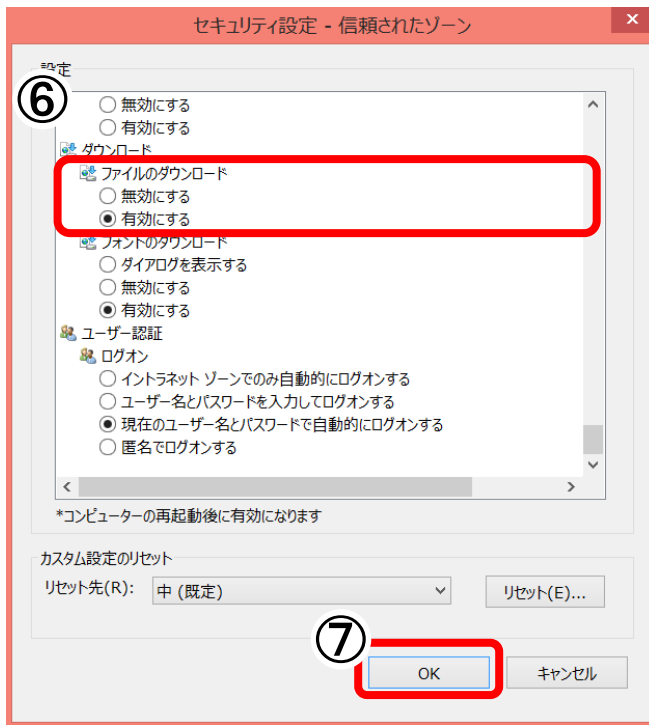


- ㉑ 「インターネットオプション」画面が表示されます。
[セキュリティ]タブをクリックします。

- ㉒ ゾーンは、「信頼済みサイト」を選択します。

- ㉓ [レベルのカスタマイズ(C)]ボタンをクリックします。

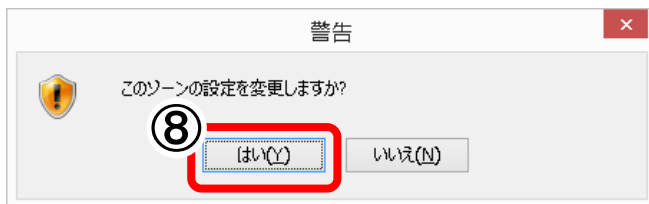
3



24 「セキュリティ設定-信頼されたゾーン」画面が表示されます。
「設定」において、「ダウンロード」の「ファイルのダウンロード」を「有効にする」に変更します。

25 [OK]ボタンをクリックします。

4



26 「警告」画面が表示されます。
「このゾーンの設定を変更しますか?」は、
[はい(Y)]ボタンをクリックします。

27 「インターネットオプション」画面が表示されます。
[OK]ボタンをクリックして閉じます。

7. サードパーティ製のブラウザ拡張機能を無効化する方法

※お使いの環境により表示が異なる場合があります。

ポップアップブロック機能を持つツールバーなどにより電子入札システムの起動に影響を及ぼす場合があります。

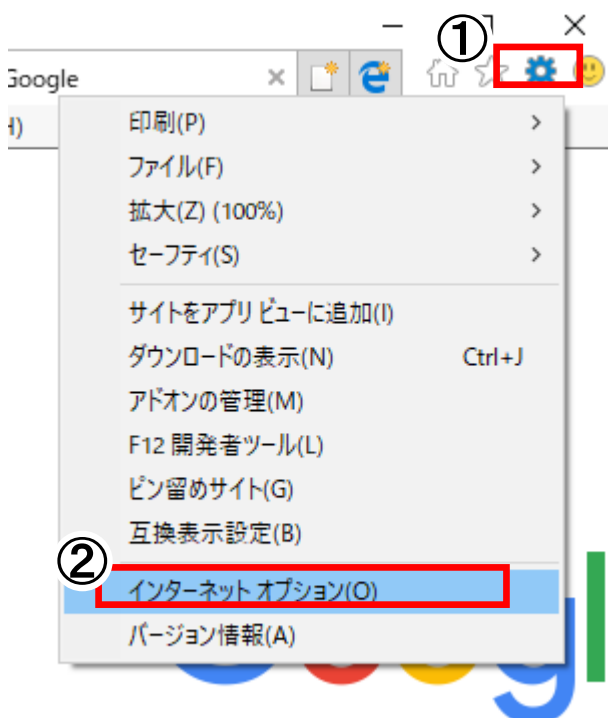
その場合は、以下の操作を行ってください。

Internet Explorer を起動します。

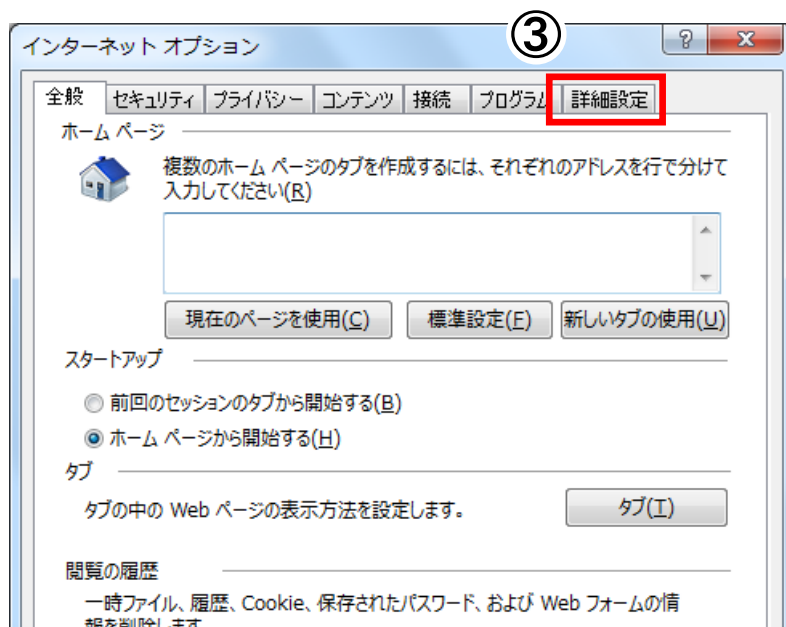
「ツール」が表示されていない場合は、

[Alt] + [T] で表示することが出来ます。

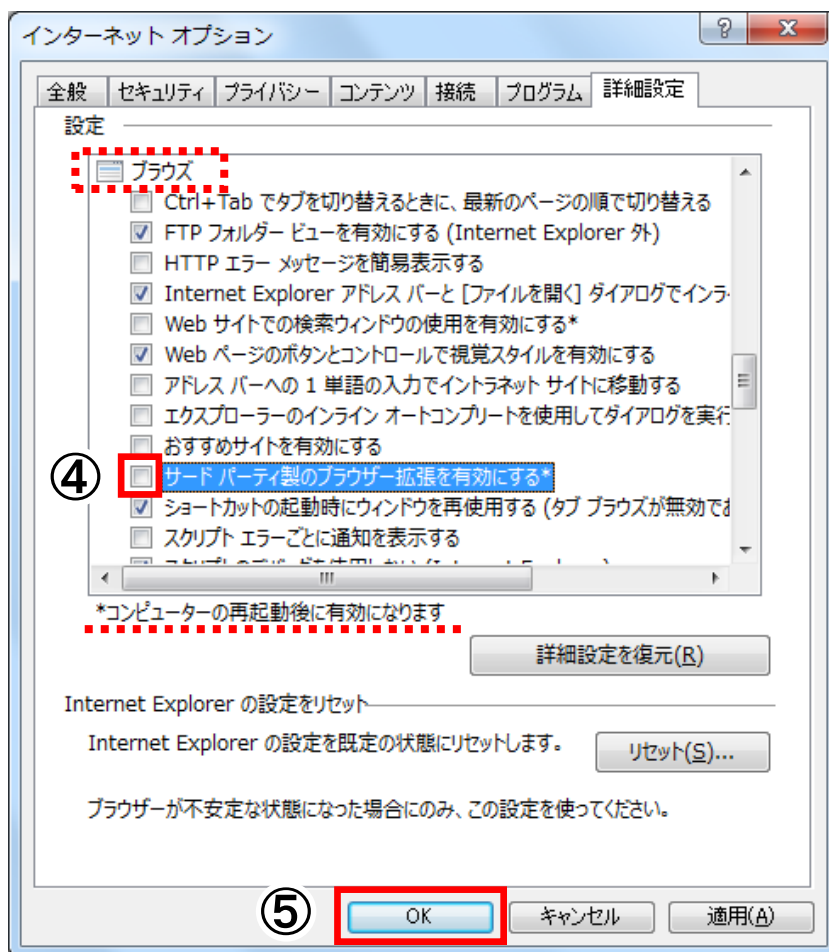
- ① 「ツール」を押下し、
- ② 「インターネットオプション」を選択します。



- ③ 「詳細設定」を選択します。



- ④ [ブラウズ] 内の「サードパーティ製のブラウザ拡張を有効にする」のチェックを外し、
- ⑤ 「 OK 」を選択します。



- ⑥ ブラウザを再起動します。

8. ネイティブXMLHTTP サポートを有効にする方法

※お使いの環境により表示が異なる場合があります。

ネイティブ XMLHTTP サポートが無効の状態の場合、電子入札システムの起動に影響を及ぼす場合があります。

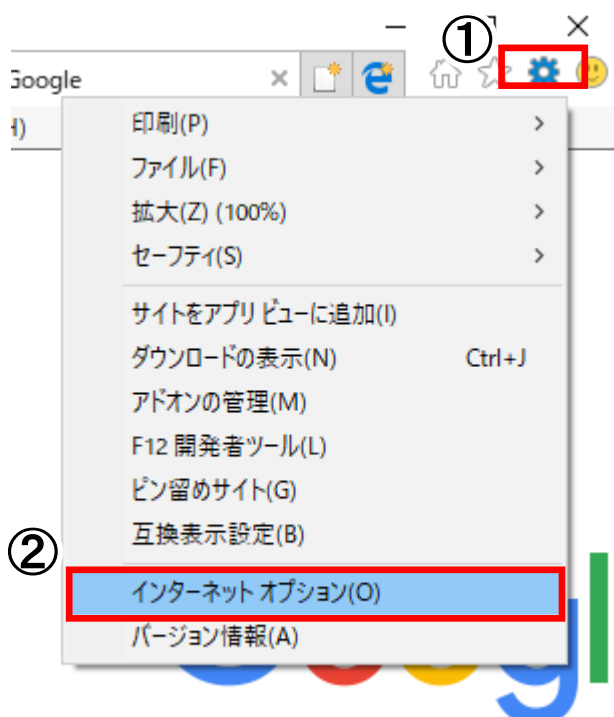
その場合は、以下の操作を行ってください。

Internet Explorer を起動します。

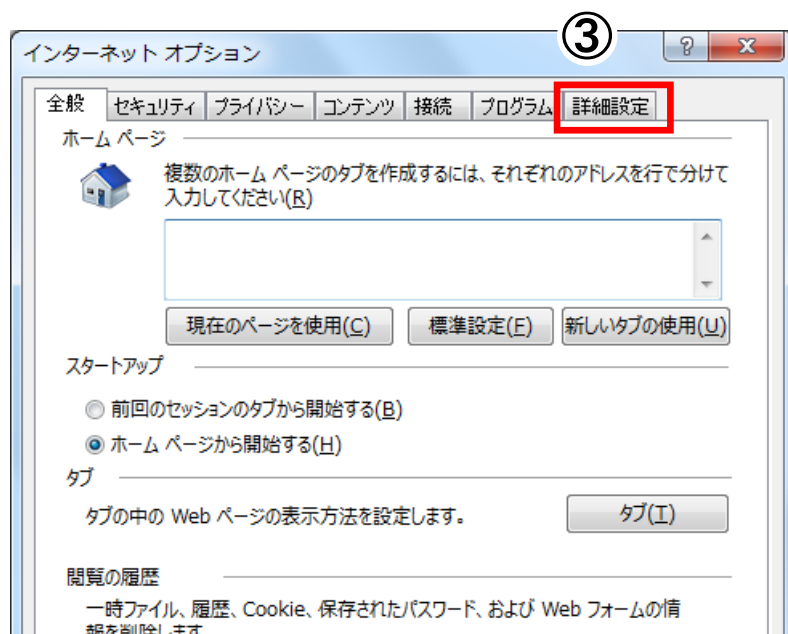
「ツール」が表示されていない場合は、

[Alt] + [T] で表示することが出来ます。

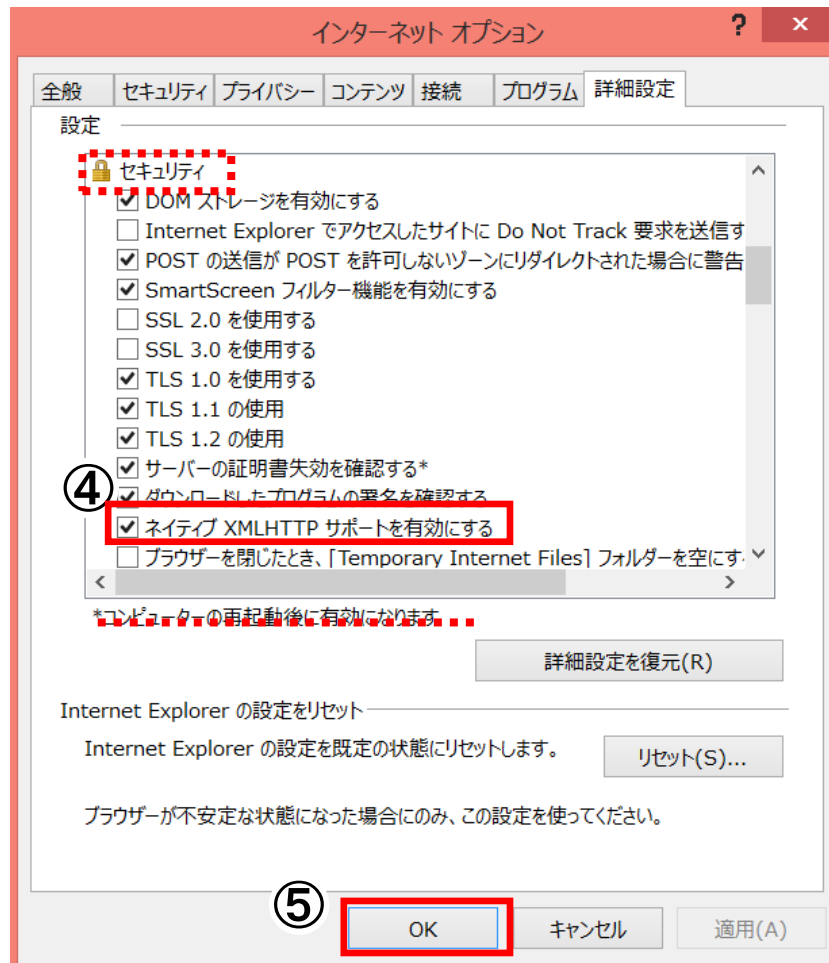
- ① 「ツール」を押下し、
- ② 「インターネットオプション」を選択します。



- ③ 「詳細設定」を選択します。



- ④ [セキュリティ] 内の「ネイティブ XMLHTTP サポートを有効にする」にチェックを入れ、
- ⑤ 「 OK 」を選択します。

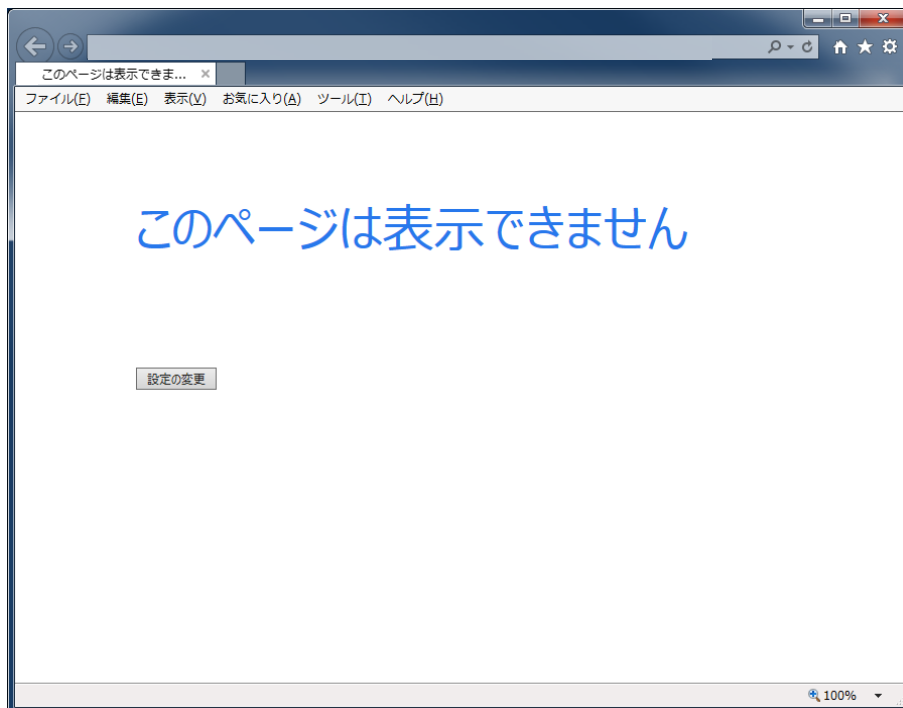


- ⑥ ブラウザを再起動します。

9. TLS1.2 を有効にする設定方法

TLS1.2 を有効にするには、以下の操作を行ってください。

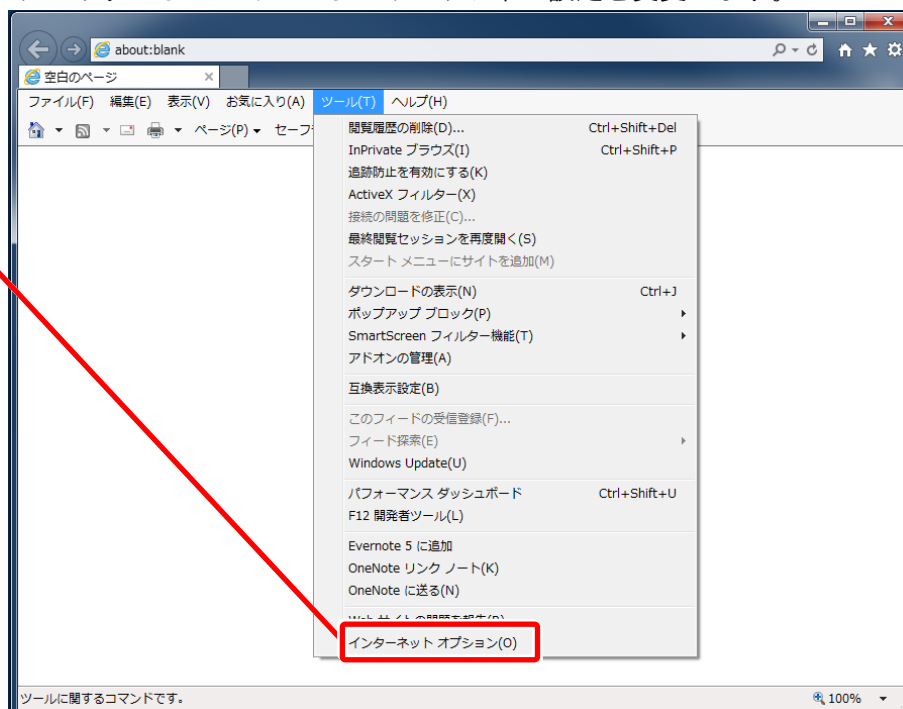
- ① Internet Explorer にて TLS を使用する設定となっていない場合、以下の画面が表示されます。



- ② Internet Explorer のインターネットオプションからセキュリティの設定を変更します。

Step 1 Internet Explorer の「ツール(T)」-「インターネットオプション(O)」をクリックする

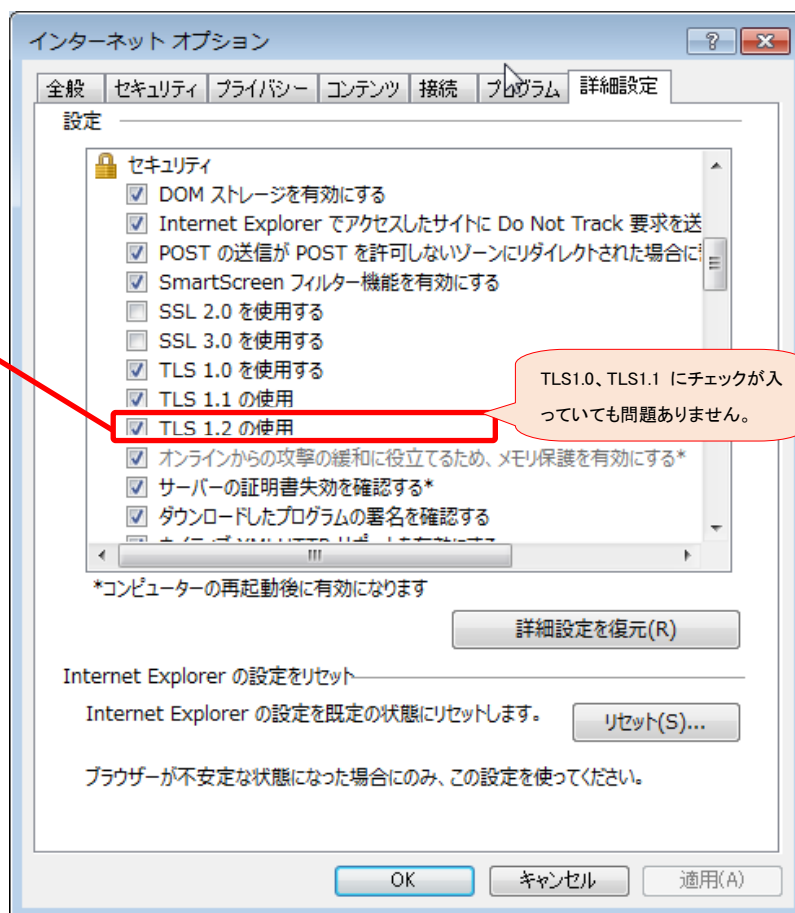
Step 2 「インターネットオプション」画面が表示される



Step 3 [詳細設定]タブ-[セキュリティ]-[TLS 1.2 の使用]にチェックを入れてください。

Step 4 設定完了後、[OK]をクリックし、画面を閉じてください。

Step 5 全ての Internet Explorer を × ボタンで閉じてください。



注意

- TLS を「使用しない」設定になっている場合は、電子入札システムにアクセスができなくなります。
- ご利用の OS・Internet Explorer のバージョンによって、選択できる項目が異なります。

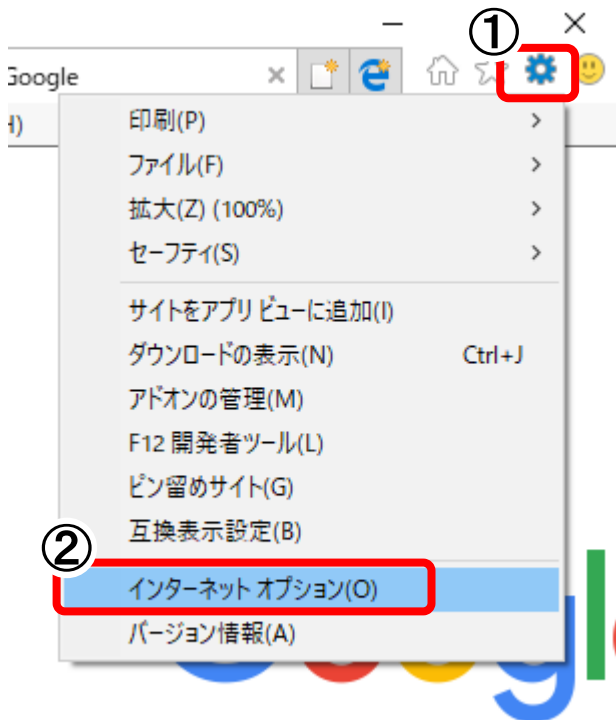
補足1 キャッシュのクリア方法について

この章で掲載されているキャッシュのクリアは、電子入札の事前準備の際には行う必要はありません。

キャッシュのクリアは、電子入札の IC カードの操作でエラーが出る時に、Internet Explorer などのキャッシュに不整合なデータが蓄積している場合がありますので、その際に以下の手順でクリアを行ってください。

1. Internet Explorer のキャッシュクリア

1



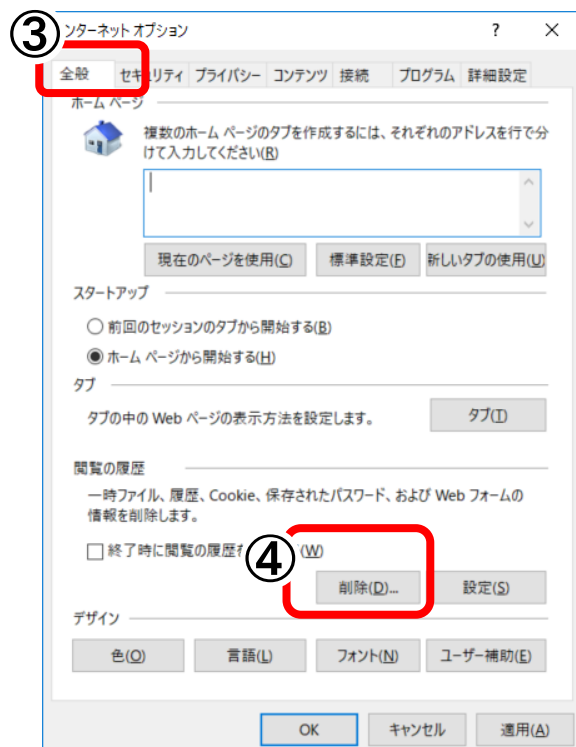
- ① Internet Explorer を起動します。
[ツール(O)]ボタンをクリックします。

(※ Windows8.1 は、デスクトップの Internet Explorer を起動します。「スタート」画面での Internet Explorer では、ご利用になれません。)

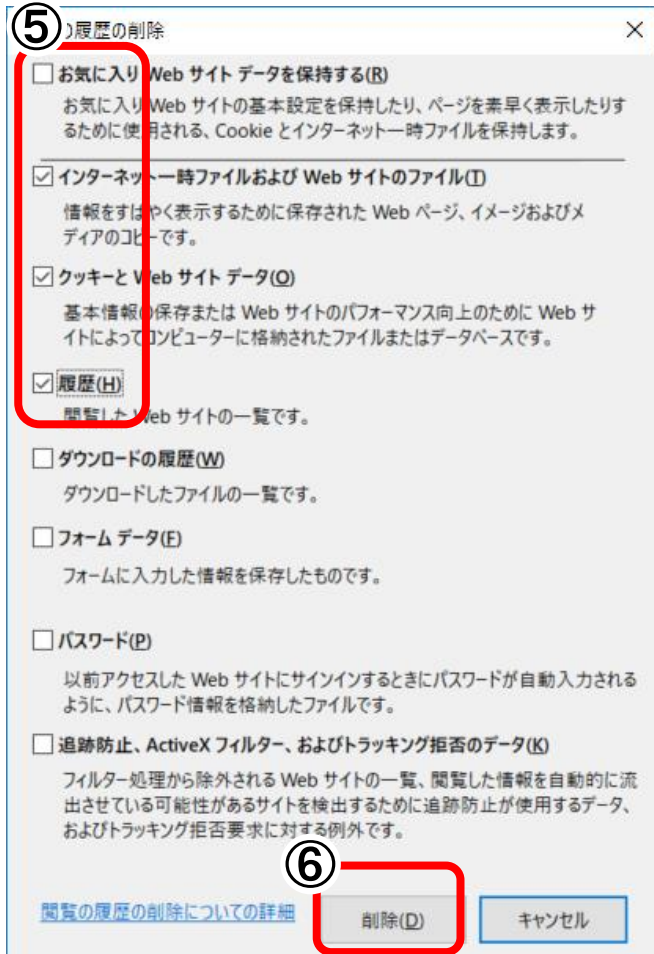
- ② 「インターネットオプション(O)」をクリックします。

- ③ 「インターネットオプション」画面が表示されます。
[全般]タブをクリックします。

2



- ③ 「削除」ボタンをクリックします。



⑤ 「お気に入り Web サイトデータを保持する」のチェックを外します。

「インターネット一時ファイルおよび Web サイトのファイル」

「クッキーと Web サイト」

「履歴」

の三つにチェックを入れます

⑥ 「削除」をクリックします

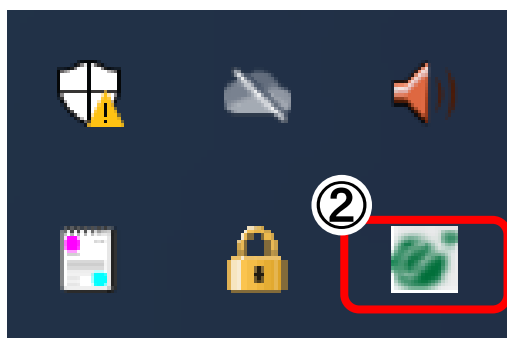
2. 電子入札補助アプリのキャッシュクリア

1



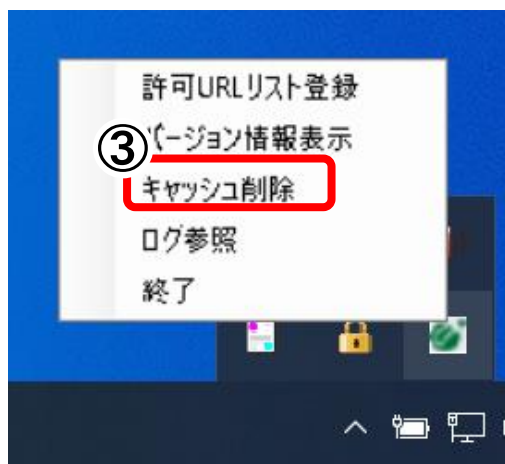
①画面右下タスクトレイの上向きアイコンをクリック

2



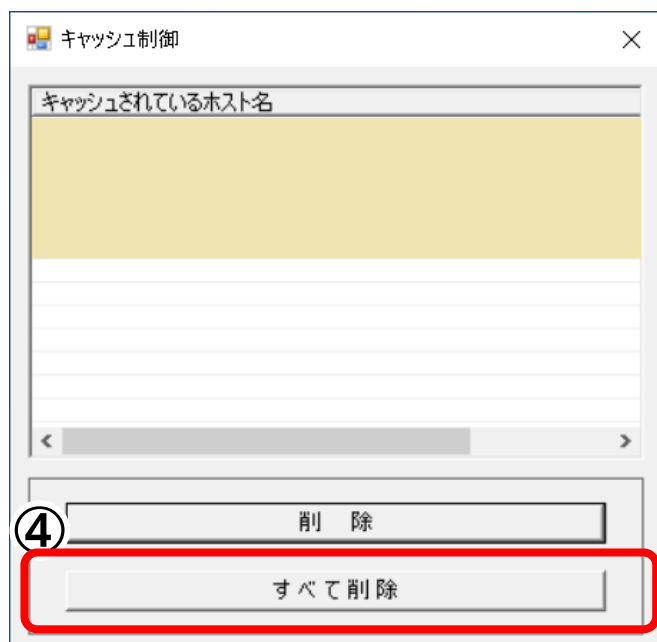
② 電子入札補助アプリのアイコンをクリックします

3



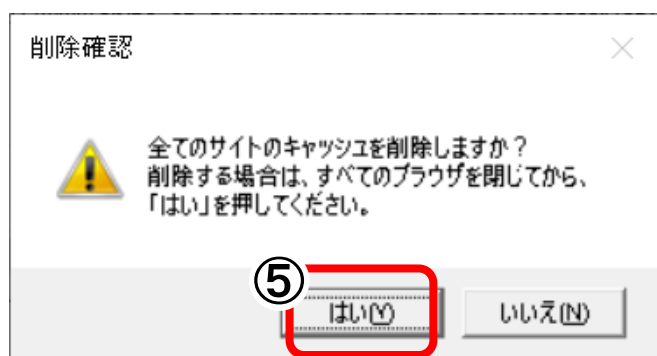
③ 「キャッシュ削除」をクリックします。

4



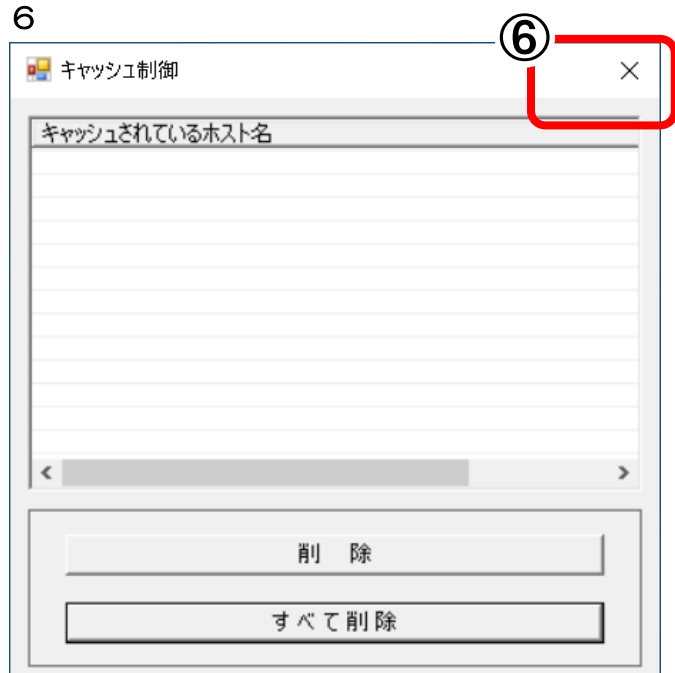
④ 「すべて削除」をクリックします。

5



⑤ 「はい」をクリックします。

6



⑥ 「右上」をクリックします

以上で電子入札アプリのキャッシュクリアは終了

補足2 メニューバーを表示させる方法

本書では、Internet Explorer の設定について、メニューバーの「ツール」から行うよう説明している箇所があります。

Internet Explorer にメニューバーが表示されていない場合は、以下の方法で表示させることができます。

メニューバーが表示されていない状態



1. メニューバーを表示させる方法

Internet Explorer を起動し、**[Alt]**キーを押下しながら **[T]** キーを押下してください。メニューバーと「ツール」のリストが表示された状態になります。

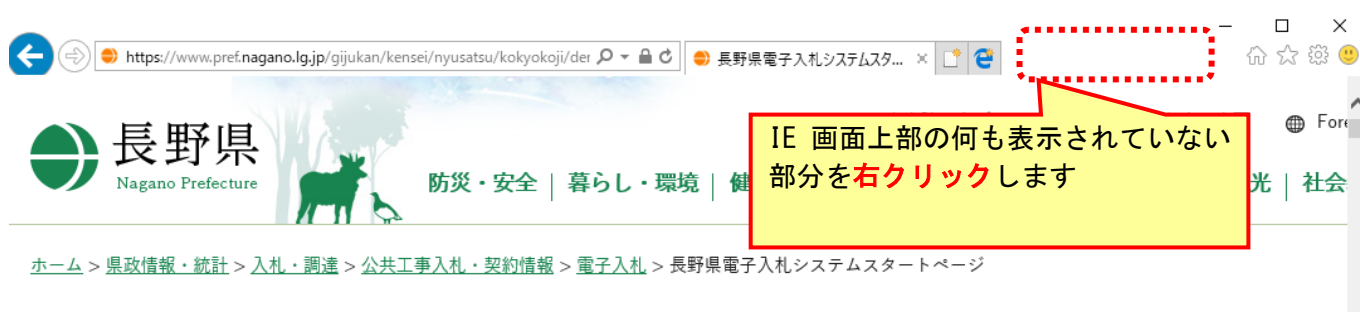


※ 本手順は一時的にメニューバーを表示させる方法です。リストの項目を左クリック、またはリスト以外の部分をクリックすると、メニューバーが表示されていない状態に戻ります。

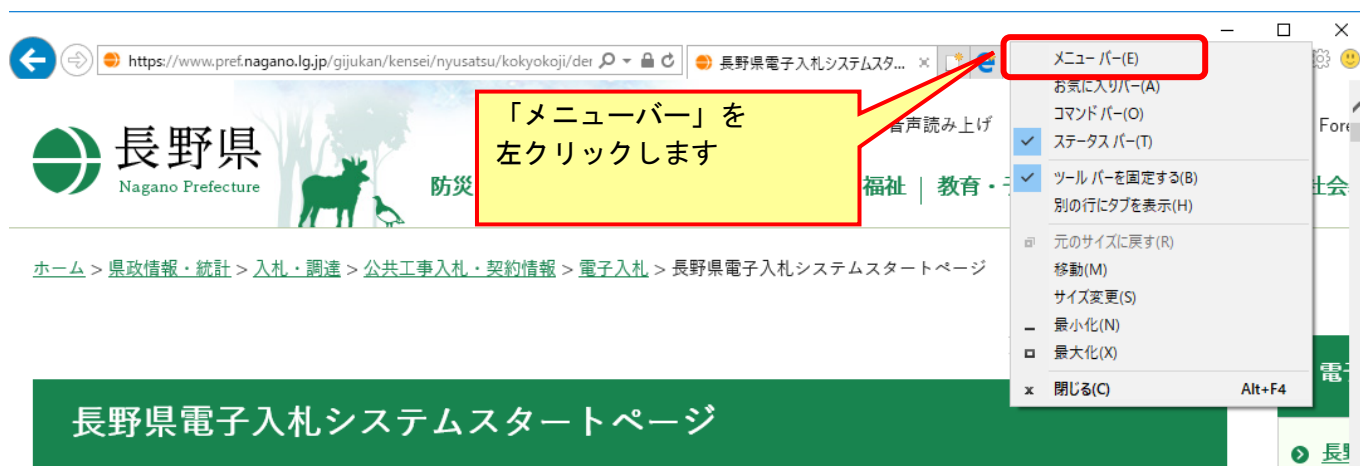
2. 常にメニューバーを表示させる方法

1の方法では、リストの項目をクリック等すると、メニューバーは非表示に戻りますが、以下の方法では、常にメニューバーを表示させることができます。

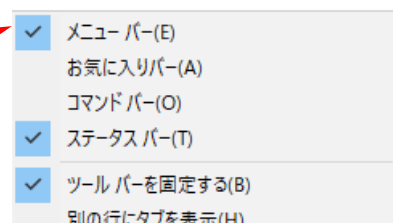
(1) Internet Explorer 画面上部の何も表示されていない部分を右クリックします



(2) 表示されるリスト内の「メニューバー」を左クリックします



(3) メニューバーが表示されます

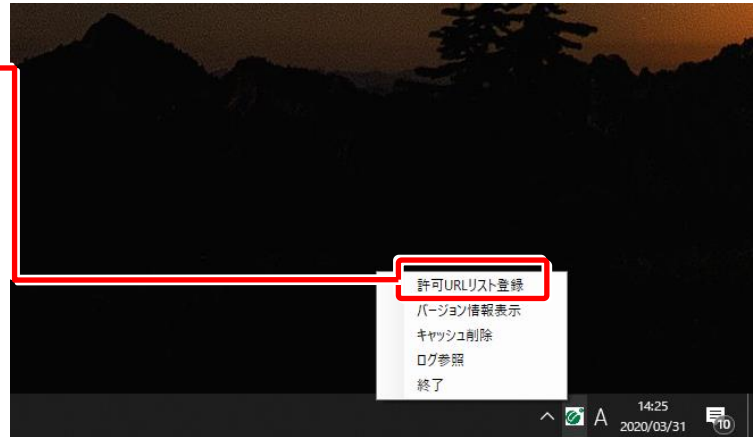


補足3 許可 URL の設定

本書では、何らかの理由で許可 URL が設定されていない場合の対処方法を記載します。

Step 1

タスクバー右下にある
電子入札補助アプリを
右クリックし、「許可 URL
リスト登録」をクリックする

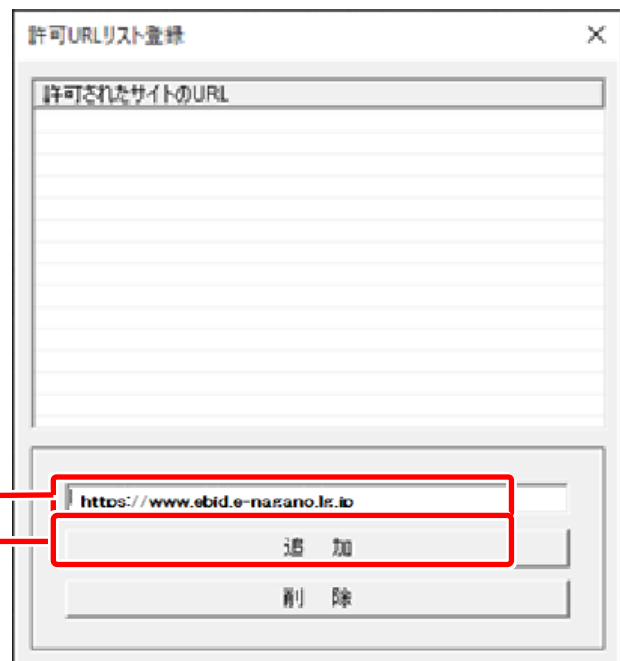


Step 2

「<https://www.ebid.e-nagano.lg.jp>」と入力する

Step 3

「追加」をクリックする



許可 URL は、以下の3つを必要とします

<https://www.ebid.e-nagano.lg.jp>

<https://www.ppi.e-nagano.lg.jp>

<http://demo.ep-bid.supercals.jp>

Step 4

「許可されたサイトの URL」に
設定されたことを確認して、
「×」でウィンドウを閉じる。



Step 5

「はい」をクリックする



Step 6

「OK」をクリックする

